

子宮頸がん予防ワクチン接種の公費助成を求める請願

「請願趣旨」

子宮頸がんを予防するワクチンが日本でも認可され、接種が始まりました。

子宮頸がんは、日本の20歳代の女性では乳がんを抜いて発生率が一番高いがんで、年間15000人以上が発症し、約3500人が命を落としています。その原因はHPV（ヒトパピローマウイルス）の感染によるもので、ワクチンで予防できる唯一のがんです。

HPVは性交渉で感染するため、性行動を始める前の10歳代の女性がワクチン接種の対象となります。皮下注射による3回の接種で4万～6万円の費用が全額自己負担となり、経済的困難な市民も多く、公的援助が必要と考えます。

すでに世界では100カ国以上でこのワクチンが使われています。日本でも自治体が独自の助成を始めています。日本婦人科学会や日本小児科学会も11～14歳の女子に公費負担で接種するよう求めています。町田市におかれましても、ぜひ公費助成をお願いいたしたく、以下の請願をいたします。

【請願項目】

- 1、子宮頸がん予防ワクチンを無料で接種できるよう公費助成をおこなうこと